

# 史跡カリンバ遺跡整備基本計画書



平成 28 年 3 月

北海道恵庭市教育委員会

## 序

恵庭市は、道央圏のほぼ中央に位置し、「水と緑と花」をキーワードに、人がふれあう生活都市を目指すまちづくりが進められております。

平成 11 年、旧カリンバ川流域のカリンバ遺跡（当時はカリンバ 3 遺跡）で行われた発掘調査で驚きの発見がありました。2 人以上の遺体を埋葬した大型の合葬墓 4 個の中から、90 点以上の漆塗り装身具が見つかりました。その質と量は、当時日本全国で見つかっていた漆塗り装身具を凌駕するもので、各種マスコミでも大きく取り上げられ高い評価を得ました。

カリンバ遺跡は、平成 17 年に国の史跡に指定され、大型の合葬墓から見つかった多種多様な漆塗り装身具は、平成 18 年に国の重要文化財に指定されました。恵庭市は、全国的にも貴重な史跡カリンバ遺跡を良好な状態で後世に引き継ぎ、史跡と重要文化財の保護と活用を目的とした整備計画推進のため、平成 20 年に「史跡カリンバ遺跡整備基本構想」、平成 23 年には「史跡カリンバ遺跡保存管理計画」を策定しました。そして平成 24 年度以降は史跡カリンバ遺跡整備基本計画策定委員会を設置し、整備を具体的に進めるための基本計画の策定を進め、本計画書の刊行に至りました。今後はこの基本計画書を基に史跡整備を実施する所存です。

最後になりますが、本計画書の策定にご尽力いただきました史跡カリンバ遺跡整備基本計画策定委員の皆様をはじめ、文化庁並びに北海道教育委員会に厚くお礼申し上げます。とりわけ、計画書の策定中にお亡くなりになられた故畑宏明氏におかれましては、病身を押して委員長の大任を担っていただきました。生前の献身的なご尽力に深く感謝するとともに、ここに慎んでご冥福をお祈りいたします。

平成 28 年 3 月

恵庭市教育委員会

教育長 穂積 邦彦

## 例 言

1. 本書は、北海道恵庭市黄金南5丁目12-2及び黄金中央5丁目216-7ほかに所在する史跡カリンバ遺跡の整備基本計画である。
2. 本書は、事務局作成の素案を平成24年度から26年度に史跡カリンバ遺跡整備基本計画策定委員会において検討した計画案を、庁内協議を経て計画としたものである。
3. 本計画策定にあたっては、史跡カリンバ遺跡整備基本計画策定委員会を組織し、その指導のもとに行った。委員及びオブザーバーは以下のとおりである。なお、所属は平成26年のものである。

委員長	畑 宏明（財団法人北海道埋蔵文化財センター副理事長）
副委員長	山田 悟郎（元北海道開拓記念館学芸員）
委員	大萱 昭芳（デザイン文化研究室）
	岡田 宏一（社団法人恵庭観光協会事務局長）
	神長 敬（株式会社K I T A B A取締役副社長）
	中村 誠一（黄金南町内会会長）
	松村 博文（札幌医科大学医学部教授）
	山口 文子（カリンバの会会長）
オブザーバー	内田 和伸（文化庁文化財部記念物課文化財調査官）
	西脇 対名夫（北海道教育庁生涯学習推進局文化財・博物館課主幹）
	田才 雅彦（北海道教育庁生涯学習推進局文化財・博物館課主査）
	藤原 秀樹（北海道教育庁生涯学習推進局文化財・博物館課主査）

4. 第6章第4節第1項1.「デザインに関する統一コンセプト」は大萱委員による草稿を事務局が編集したものである。

5. 事務局体制（平成27年度）

### 恵庭市教育委員会

教育長	穂積 邦彦
教育部長	中川 淳一
教育部次長	内藤 和代
郷土資料館長	菅原 伸治
郷土資料館主査	長町 章弘（事業担当者）
郷土資料館主任学芸員	鈴木 将太

# 目 次

## <本文目次>

第1章 計画の枠組み・・・・・・・・・・1	第2項 保存管理の方法・・・・・・・・35
第1節 計画の目的・・・・・・・・・・1	1. 史跡指定地・・・・・・・・・・35
第2節 対象範囲・・・・・・・・・・2	2. 史跡周辺地区・・・・・・・・・・35
第3節 整備事業の推進について・・・3	第3項 現状変更等の取扱い基準 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・36
第2章 史跡指定地の状況・・・・・・・・4	1. 史跡指定地・・・・・・・・・・36
第3章 保存に至る経緯・・・・・・・・・・5	2. 史跡周辺地区・・・・・・・・・・36
第4章 史跡カリンバ遺跡の概要と周辺環 境・・・・・・・・・・・・・・・・・・6	第4項 障害物等の取扱い・・・37
第1節 発掘調査の概要・・・・・・・・6	1. 史跡指定地・・・・・・・・・・37
第1項 札幌大学の調査・・・・・・・・6	2. 史跡周辺地区・・・・・・・・・・37
第2項 団地中央通地区の調査・・・6	第5項 アクセスルートにおける案内 標識等の整備・・・・・・・・37
第3項 詳細分布調査・・・・・・・・7	第2節 市民ワークショップによる意見 集約・・・・・・・・・・38
第2節 史跡指定書及び官報告示の内容 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・15	第1項 集約方法・・・・・・・・・・38
第3節 重要文化財指定書及び官報告示 の内容・・・・・・・・・・・・・・・・16	第2項 集約結果・・・・・・・・・・38
第4節 主な遺構と遺物・・・・・・・・17	1. 基本的事項 ・・・・・・・・38
第1項 団地中央通地区（段丘面） ・・・・・・・・・・・・・・・・・・17	2. 活用・・・・・・・・・・38
1. 重要文化財が出土した大型合葬 墓・・・・・・・・・・17	3. 博物館施設・・・・・・・・38
第2項 東地区・西地区（段丘面） ・・・・・・・・・・・・・・・・・・23	4. 史跡公園・・・・・・・・・・39
第3項 北地区（低地面）・・・・・・・・23	5. 市道団地中央通・・・・・・・・39
第5節 周辺環境・・・・・・・・・・30	第3節 整備基本構想・・・・・・・・40
第6節 景観・・・・・・・・・・32	第1項 整備・活用の意義・・・・40
第5章 整備の方向性・・・・・・・・・・34	第2項 整備・活用の目的・基本理念 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・40
第1節 保存管理計画・・・・・・・・34	第3項 整備・活用の基本的な考え方、 及びその手法の概略・・・・40
第1項 基本方針・・・・・・・・・・34	1. 調査研究・・・・・・・・・・40
1. 現状把握・・・・・・・・・・34	2. 活用・・・・・・・・・・40
2. 保存管理の基本方針・・・・34	3. 自然景観・・・・・・・・・・41
	4. ゾーニング・・・・・・・・・・41
	第4項 整備・活用上の課題・・・・41
	第6章 整備基本計画・・・・・・・・42
	第1節 はじめに・・・・・・・・・・42

第2節 史跡指定地及び史跡周辺地区の現況	43	1. 北東側周辺地区（カリンバ自然公園）	57
第1項 概況	43	2. その他地区	58
第2項 史跡指定地の現況	43	第5節 施設計画	62
1. 東地区	43	第1項 史跡指定地	62
2. 西地区	43	1. 遺構解説板	62
3. 北地区	43	第2項 史跡関連用地	64
第3項 史跡周辺地区の現況	44	1. ガイダンス施設	64
1. 南西側周辺地区①	44	2. 埋蔵文化財センター	74
2. 南西側周辺地区②	45	3. 体験工房施設	75
3. 南東側周辺地区	45	4. 屋外トイレ	76
4. 北東側周辺地区	45	第6節 運営及び体制等について	76
第3節 整備項目の概要	45	第1項 方針	76
第1項 史跡の保護	45	第2項 地域住民及び利用者の参画	76
第2項 景観整備	45	第3項 縄文を軸とした広域的な連携	76
第3項 保存・学習、調査・研究	45	第4項 事業推進のための組織体制	77
第4項 付属施設	45	第7節 活用計画	77
第5項 サイン	46	第1項 基本方針	77
第4節 整備計画	46	第2項 利活用のための整備	77
第1項 全体方針		第3項 普及・啓発	77
1. デザインに関する統一コンセプト	46	第4項 地域住民	77
第2項 史跡指定地及び史跡周辺地区における共通事項	47	第5項 利活用計画	78
1. 遺跡の保護	47	1. 縄文祭り、体験学習会、特別展、講演会、出前講座等各種イベントの実施	78
2. 景観整備	47	2. 学校教育での活用	78
3. 保存・学習、調査研究	48	3. 市民による史跡活用イベントの企画・運営や、史跡保護活動支援	78
4. 付属施設	49	第6項 ネットワークの構築	78
5. サイン	50	第8節 整備事業の進め方について	79
第3項 史跡指定地及び史跡周辺地区における個別事項	51		
1. 東地区	51	引用・参考文献	80
2. 西地区	52		
3. 北地区	52		
第4項 史跡関連用地	57		
1. 南西側周辺地区①	57		
第5項 史跡周辺地区	57		

<表目次>

表 1 史跡カリンバ遺跡 史跡指定までの調査経過概要・・・5  
表 2 団地中央通地区における縄文時代後期後葉の土坑墓副葬品一覧・・・20  
表 3 重要文化財一覧・・・20  
表 4 整備項目一覧 (1)・・・60  
表 5 整備項目一覧 (2)・・・61  
表 6 ガイダンス施設各室一覧・・・65  
表 7 体験工房施設各室一覧・・・76  
表 8 屋外トイレ一覧・・・76

<挿図目次>

図 1 基本計画の対象範囲・・・2  
図 2 史跡指定地と周辺の地形・・・4  
図 3 史跡カリンバ遺跡の発掘調査区・・・7  
図 4 史跡カリンバ遺跡 遺構位置図・・・8  
図 5 史跡カリンバ遺跡 縄文時代後期中葉の遺構位置図・・・9  
図 6 史跡カリンバ遺跡 縄文時代後期後葉の遺構位置図・・・10  
図 7 史跡カリンバ遺跡 縄文時代晩期前葉の遺構位置図・・・11  
図 8 史跡カリンバ遺跡 縄文時代晩期後葉の遺構位置図・・・12  
図 9 史跡カリンバ遺跡 擦文時代の遺構位置図・・・13  
図 10 史跡カリンバ遺跡 アイヌ文化期の遺構位置図・・・14  
図 11 団地中央通地区の遺構位置図・・・18  
図 12 東地区の遺構位置図・・・24  
図 13 西地区と北地区の遺構位置図・・・25  
図 14 北地区の遺構・遺物 (TR-147～151)・・・28  
図 15 北地区の遺構・遺物 (TR-153)・・・29  
図 16 史跡カリンバ遺跡の位置とアクセス・・・30  
図 17 史跡カリンバ遺跡周辺の土地利用

計画・・・31  
図 18 地区区分とゾーニング計画・・・42  
図 19 史跡指定地と周辺地区の現況・・・44  
図 20 遺構解説板位置図・・・51  
図 21 史跡カリンバ遺跡整備構想イメージ図・・・59  
図 22 解説板を設置する縄文後期後葉の土坑墓群・・・62  
図 23 解説板を設置する縄文晩期前葉の竪穴住居跡・・・62  
図 24 解説板を設置する擦文前期の竪穴住居跡・・・63  
図 25 解説板を設置するアイヌ文化期のチャシ跡・・・63  
図 26 解説板を設置する縄文後期後葉から晩期前葉の作業・生活空間・・・64  
図 27 ガイダンス施設イメージ図・・・64  
図 28 大型合葬墓展示室イメージ図とその副葬品出土状況・・・66  
図 29 大型合葬墓副葬品等展示室イメージ図・・・67  
図 30 体験工房施設イメージ図・・・75  
図 31 ネットワーク概念図・・・78

<図版目次>

図版 1 史跡カリンバ遺跡空撮・・・1  
図版 2 土坑墓群の検出状況・・・3  
図版 3 団地中央通地区の主な土坑墓の副葬品出土状況・・・19  
図版 4 重要文化財 (漆製品の一部)・・・21  
図版 5 重要文化財他 (玉類、縄文土器)・・・22  
図版 6 東地区の遺構・遺物・・・26  
図版 7 西地区の遺構・遺物・・・27  
図版 8 遺跡の景観 (1)・・・32  
図版 9 遺跡の景観 (2)・・・33  
図版 10 北地区の景観・・・53  
図版 11 北地区の草花・・・54

